



interview

パパ・ママになるなら 島原市

島原市在住の子育てママ

初産の不安が 逆に楽しさのきっかけに

0歳から5歳頃までの幼児世代の子育てママが集う島原市主催の子育てサークルに参加している親子に島原市の子育て支援についてお聞きしました。

初産ということもあり妊娠がわかった頃から出産や子育てへの不安が日に日に大きくなりました。無我夢中で主人と一緒に初めての出産を乗り越え、乳幼児健診で耳にしたのが、島原市のいろんな子育てサークルのことでした。特に出産したばかりの親子が集うサークル「IPPO(いっぽ)」には助けられました。



初めての子育てで右も左も分からなかった時期に支援員さんたちからのサポートやアドバイスがあって…。一番嬉しかった

のは同じ月齢の子を育てている同じ状況のママたちとの出会いでした。それまでの子育ての悩みが「私だけじゃなかったんだ」と思えて、本当に気持ちが悪くなりました。

病気になった時の病院の話、離乳食の話、ウンチの話、授乳の話など、たわいもない話なんですけど、24時間ずっと子どもと向かい合っていた私にとっては、とっても貴重な時間になりました。



島原市は子どもの年齢に合わせて、いろんな子育てサークルや支援があるし、母親のように相談できる支援員さんたちの存在にも助かっています(笑)。「子育ては完璧じゃなくてよかとよ」と言われた時は本当に涙するほど嬉しかったです!



島原市は
子ども達の
応援団!!



子どもたちは島原の“宝” 地域や行政、幼保小中機関が連携し、 子どもたちの笑顔があふれるまちに!

島原市は、安心して子どもを産み、育てることができる社会環境をつくるため、育児用品代の助成や、島原市独自の2人目以降の保育料軽減制度、中学生までの医療費の助成など、経済的負担を軽減する施策に加え、出産前後の育児・家事の支援、産後ケアや親同士の仲間づくりの支援、ひとり親等への支援や小児診療体制の整備など、子育て世代への支援の充実を図っています。

子どもは島原の「未来」です。保護者、市、学校、保育園、地域がそれぞれの立場から子育てをサポートできる、子育て世代が暮らしやすいまちづくりを進め、人口減少問題に立ち向かいます。



子育て支援室 (地域子育て支援センター)

子育て中のお父さん、お母さんが親子でホッとできるふれあいの場として、島原市保健センター内に開設しています。

